



Shikoku  
Cancer Center News  
No.92

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

# 四国がんセンター ニュース



2025  
秋の号

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(東温市河之内・金毘羅寺 撮影: 俊野 健治)

## がん専門病院の良いところ

がんかもしれないと言われたとき、「まだ診断されたわけではないのに、がん専門病院へ行くのは敷居が高い」と思う方もいらっしゃるでしょう。しかし当院は、がんが疑われた段階から受診していただくことを想定しています。「がん以外の病気も診ている大きな病院のほうが安心なのは」「がんの治療はどこも同じ」というお話を耳にすることもあります。がん以外に重いご病気がある方や、特別な診療が必要な方には、そのような病院が適している場合もあります。そうでなければ、どの病院を選んでも同じでしょうか。

がんの心配があると告げられたとき、多くの方がまず「これからの生活や仕事はどうなるのか」と不安を抱かれます。がん専門病院には相談窓口があり、就労や生活に関するご相談をお受けし、少しでも安心していただけるようお手伝いしています。

そうして、もしがんと診断されたら、それぞれのがんを専門とする医師が治療にあたります。一般の病院よりも早く最新の治療が導入されることもあり、新しい薬を用いた臨床試験に参加できる機会もより多くあります。さらに、医師だけでなく、

看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・心理士など、がん医療を専門とする職種が連携し、治療から生活までを支えます。脱毛などの抗がん剤の副作用やその対処方法についての豊富な情報、治療中の痛みやつらさをやわらげる「緩和ケア」を早い段階から受けていただける体制は、がん専門病院ならではといえます。

さらに四国がんセンターには、がん以外の病気を診る併存疾患センターと、交流の場「暖だん」があります。暖だんでは、患者さんやご家族のためのサロンをはじめ、外見の変化へのサポート、医師によるセミナーや小さなコンサートなど、さまざまな取り組みを行っています。

がん専門病院には、医療の専門性だけでなく、安心して治療と生活を続けていただくための支援が整っています。がん専門病院、四国がんセンターの良いところを、これからも発信してまいります。



(副院長 藤山 幹子)



# がん治療

# 最前線

## 頭頸科・甲状腺腫瘍科

### 声を取り戻す！新しい代用音声治療

「声を失うことになる」

ある日、そう告げられたらつらいですよね。仕事もあるのに！家族や友人と会話ができないなんて！困ったときに電話もできないじゃない！

喉頭がんは声を出す声帯のまわりに発生するがんです。

たばこ肺がんの関係はよくご存じかと思いますが、肺を出入りするたばこの煙はまずその入り口である声帯にも悪影響を及ぼします。

そのため、長年喫煙を続けてきた中高年の男性に多いがんとされていますが、女性喫煙者にも同様に発症します。

放射線治療で治せない場合や、進行がんの場合には喉頭を全摘出する必要にせまられ、術後には声を出すことができなくなります。

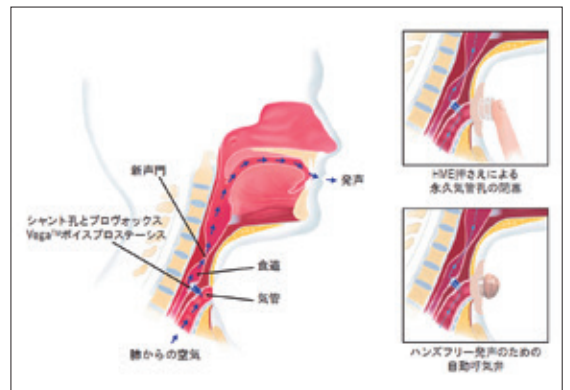
失った声のかわりとなる発声法として代表的なのは食道発声（食道に貯めた空気を利用して声を出す）や電気人工喉頭（機械で口腔内の空気を振動させて声を出す）となります。

しかし、食道発声には習熟が難しく、長い音節を発声しづらいという短所が、電気人工喉頭では声の質が機械的になってしまうという短所がそれぞれありました。

がんセンターでは声を失った方の利便性向上のために【電話リレーサービス】のご紹介等も行っていきますが、やはり何らかの方法を会得してご自身で発声できる方法を持っていただきたいと思っています。

現在、当院で取り組んでいる新しい代用音声プロボックスボイスプロテーシス®というシャント器具を用いた発声法です。全身麻酔下にこの器具を気管と食道の間に挿入する手術を行ない、術後発声リハビリを組み合わせることでシャント発声の上達をサポートします。

いままでの代用音声に比べて、より自然な音質での会話を可能にできる治療法として期待されています。



「喉摘者のためのガイドブック」より



(統括診療部長 門田 伸也)



# 治験 CHIKEN CORNER

ちけん

## 「当院では治験を実施しています」

### ●現在参加者募集中の治験等情報

- 肺がん .....23件
- 乳がん .....6件
- 卵巣がん .....3件
- 子宮体がん .....1件
- 子宮頸がん .....2件
- 食道癌 .....2件
- 胃癌 .....5件
- 胆道癌 .....1件
- 大腸癌 .....3件
- リンパ腫 .....4件
- 膀胱癌 .....1件
- 前立腺癌 .....3件
- 頭頸部癌 .....1件
- 固形癌 .....11件

(令和7年9月10日現在)

こちらは、治験・臨床試験支援室です。このコーナーでは、ただ今、参加者募集中の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。



[https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical\\_trial\\_during\\_the\\_experiment/](https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical_trial_during_the_experiment/)

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在参加者募集中の治験等情報」です。





前回の診療科紹介から約5年が経ち、再度原稿を書く機会をいただきました。現在麻酔科は5名体制で、麻酔業務に携わっております。

前回の記事では、麻酔科の一般的な紹介をさせていただいたので、今回はこの5年間で麻酔科が取り組んできたことをお伝えしたいと思います。

昨今の医療技術の進歩により、従来の術式のみならず、腹腔鏡下手術やロボット支援手術が広く行われるようになってきました。より侵襲の小さい手術の登場により、幅広い年齢層やさまざまな合併症を持つ患者さんに、手術を受けていただく機会が増えてきました。これらの患者さんが、無事に手術を乗り越えていただけるように、安全な麻酔管理を提供することが、これまで以上に麻酔科医に求められるようになってきました。

そのためには、「術前診察」が重要となります。術前診察とは「麻酔科医が手術前の患者さんのコンディションを整え、麻酔法や鎮痛法を選択するときに必要な情報を得るために行う（日本麻酔科学会）」ものです。

当科では毎週月・火・金に術前診察を外来で行っています。他科の外来とは異なり、ほとんどが「初診外来」となります。1回の受診で①問診、②術前検査の結果と問題点の説明、③麻

酔方法の説明と同意書の取得をおこなうため、特に問題点のない患者さんでも、20～30分前後を要します。

効率の良い術前診察を行い、なるべく1回の受診で完結するために、術前診察の内容を見直し、外科の先生方へ定期的な情報提供を行ってまいりました。加えて、循環器内科・糖尿病内科・眼科・脳神経外科・精神科の外来も併設され、周術期管理に必要な評価を院内で受けていただけることも、大きく貢献していると思います。最近では、よほどのハイリスクな患者さんでなければ、概ね1回の術前外来で完結するようになりました。

これからも患者さんに、安全で最適な医療を提供できるように、麻酔科一同取り組んでまいります。

(麻酔・ICU部長 原田 佳実)



## エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.68

### 感染管理認定看護師

みなさんは、「感染管理認定看護師」をご存知ですか？

感染管理認定看護師とは、患者さんや医療スタッフを感染から守るために、専門的な知識と技術を活用して皆さんを感染から守る役割をになっている看護師のことです。私は病院内を巡回して、手洗いや手袋の脱ぎ着など感染対策が適切に実践されているか確認しています。また、病院スタッフからの感染対策に関する相談に対しアドバイスや支援をしたり、データを分析して現状の感染対策の効果を評価したりしています。

当院には、治療ともなって免疫力が低下している患者さんが多くいらっしゃいます。手洗いは手に付いた細菌やウイルスを大幅に減少させることができるので、感染対策の基本です。患者さんが日常生活の中で正しい手洗い方法を習慣にできれば、ご自身と大切なご家族を感染症から守ることができます。今年の7月から病室に設置してあ

るテレビの無料チャンネルで、患者さん向けの手洗い動画を放映しています。手洗いの正しい方法やタイミングについて紹介していますので、是非一度ご覧ください。外来通院中の患者さんにも、手洗いの方法について分かりやすくお伝えするための資料を作成中ですので、今しばらくお待ちください。

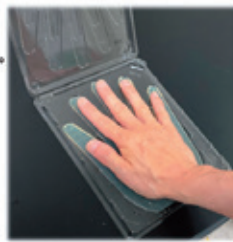
患者さんや医療スタッフを感染から守るために、皆さんが感染対策に取り組める体制づくりに努めてまいります。

(感染管理認定看護師 廣野 遼)

#### 細菌の数を調べてみました

1. 培地\*に手を押し当てて。
2. 1を、約37度の温度で2日温める。

\*培地とは、  
ばい菌が成長しやすいよう人工的に作られた  
ゼリーのようなもの



手洗いの動画の一部



## 【愛媛県立図書館×四国がんセンター 共催セミナー開催します！】



2013年度から読書週間に愛媛県立図書館と四国がんセンター暖だん共催で患者・家族だけでなく一般の方も対象とした、がんについてのセミナーを主催元を会場とし、交互に開催しています。これまで、がん相談支援センターの周知活動として出張相談会や、がんゲノムについて、膵がんや、遺伝についてなど様々なテーマで今までたくさんの方に参加していただきました。

今年度は四国がんセンターが主催です。患者・家族総合支援室 暖だん 憩いのひろばにて12月10日（水）13：00～14：00に「がんと栄養」をテーマに開催します。「がん予防に役立つ栄養のポイントは？」「抗がん剤治療が始まったら食事は何に気を付けたらいい？」など栄養にまつわる疑問がいろいろとあるのではないのでしょうか。第一部は今年度発行された【がん患者さんのための栄養治療ガイドライン 2025年版】をもとに当院栄養士からの講演を行います。第二部は心理療法士より「今この瞬間の食事に意識を向けて、五感で味わいながら食べる」という食べ方、マインドフルネスイーティングの実践を行います。単なる食事ではなく、瞑想的な行為として食べることで、心と体のつながりを深めることができます。最後に、愛媛県立図書館の医療健康情報コーナーについて、担当する司書にお話していただく予定です。

県立図書館は地域の公共図書館として県民のくらしを支えるため、がんについての図書や闘病記を配架しているほか、コーナーの一角に持ち帰り可能ながんのパンフレットや催しのちらしを集めるなどして、様々な情報提供を行っています。なお、堀之内の県立図書館は、現在耐震工事中のため、令和7年2月より「アイテムえひめ」に仮設図書館を開設しています。

暖だん 学びのひろばにもたくさんのがんに関する書籍があります。開館時間内であれば自由に手に取っていただけますので、入院中の空き時間や外来の待ち時間などお時間あります時にぜひ一度足を運んでみてください。

がんは長く付き合っていく病気になりつつあります。この企画を通じて、がんについて正しく理解して頂き、予防や治療、生活について考える機会になればと思います。「がんになっても安心して暮らせる地域」となるよう、今後も様々な情報をお伝えしていきたいと思います。

（患者・家族総合支援室・暖だん

山崎 綾乃（看護師）



愛媛県立図書館 × 四国がんセンター

### “がん”を学ぼう！2025

13:00～ 「がんと栄養」	講師：四国がんセンター 主任栄養士 中西 初実
13:30～ 「マインドフルネスイーティング を試してみよう」	講師：四国がんセンター 心理療法士 井上 実穂
13:50～ 「愛媛県立図書館 医療健康情報コーナーについて」	講師：愛媛県立図書館 司書 橋 可奈子

日時：2025年 **12月10日（水）**

**13時00分～14時00分** 参加費 無料

場所：四国がんセンター  
患者・家族総合支援センター **暖だん**

対象：患者・家族  
(テーマに興味のある方々など)

四国がんセンターを受診されていない方も大歓迎です！  
どうぞお気軽にご参加ください！

＜主催・問い合わせ＞ 四国がんセンター 患者・家族総合支援室 暖だん TEL：089-999-1209  
＜共催＞ 愛媛県立図書館

## 治療中の働き方に関する相談を実施しています！

～就職・就労相談状況のご報告～ 平成29年4月～令和7年8月

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 925人 就職延べ件数 148件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 120件

相談者の  
声

「病院で仕事の相談ができると思わなかった」  
「話ができ、気持ちが楽になった」  
「病気になった私でも、できる事があると思えた」

治療と  
仕事の  
両立支援



四国がんセンターは、  
がん患者さんの“働きたい！”  
をサポートしています。  
お気軽に、スタッフまで  
お声掛けください。

ちりょうさ

厚生労働省「治療と仕事の両立支援」キャラクター

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

# ☑ がんセンターだより

## がんセンフェスタ

10月25日（土）、がんセンフェスタを、「がんと共に生きる」講演会 with 愛GIVER project、ラベンダーリングポスター展、AYA世代のサロンと同時に開催しました。外来ホールのステージでは越智獅子舞保存会による獅子舞、また、有志の方々による箏の演奏、ウクレレの演奏、ニホンカワウソ幻（げん）ちゃんも駆けつけてくれて、サクソ演奏を披露してくれました。ボランティアさんとスタッフが協力して企画しました各種イベントにたくさんの方々にお越しいただき、みなさんにお喜びいただけたのではないかと考えております。来年もスタッフ、ボランティアさんとの力を結集してお越しいただく方にもっともっと喜んでいただけるようなすばらしいフェスタとなるよう取り組んでいきたいと思っております。

（管理課長 三嶋 哲也）



# 医者のつよき リレーエッセイ



## ●第三十二回 3次会は詳細が思い出せない夏の思い出

今年の夏は暑かったらしい。

毎日暑いねって言われても、朝涼しいうちに登院して空の见えないクーラーの効いた病院の奥で働き、日が暮れてから帰宅する私にとっては、ここ何年も夏の実感はない。

30年前留学中、私がストックホルムっ子(あるいは、ストック子)だった頃は、良い夏をしっかりと実感していた。ストックホルムは北欧スウェーデンの首都で、穏やかなバルト海に面し、夏は空も町もきれいで、湿度は低く暑くない。暗くて長くて寒い秋冬を過ごすストック子達は穏やかで爽やかな明るい夏を楽しむことに人生の全てを懸ける。冬に休まないわけではないのに、大人になっても1ヶ月くらい夏休みがある。休みの間旅行に行くもよし、海に行くもよし。何も無い日には宿舎から2-3分歩いて湖の畔に出てビールを飲んで動物園に行ったりしていた。

日本からの留学生が集まった時に・・・

『夏休み1ヶ月、さらに冬にはスキー休暇が1週間、40年働くとして、48ヶ月の差。スウェーデン人に比べたら日本人の病理医は懲役4年。先生達は外科医だから懲役7年』

そこで、気を取り直して今年の夏の思い出を手繰ってみる。

そう言えば、今年は7月の終わりに小さな学会を主催した。学会では主催者となると沢山飲めないの、大酒を飲みたければ、参加者であるに限る。しかし、自分の設定した形で楽

しく飲めるのも大会長となったときだけだ。会長！会長！と持ち上げてもらえるし・・・

コロナ以降、実際に人が集まって学問をする意義は忘れられた。全国学会でも人の集まりは寂しくなったが、地方会は更にひどい。2025年の夏に大会長の番が回ってくるのは早くから分かっていたので、何年前から、若手活躍の機会と会員の交流を建前主眼に据え、若手だけの特別講演、老舗旅館での大宴会や若手とベテランの交流を目玉にした。単なる1口演じゃなくて特別な講演と感じられるように若手の演者一人一人にポスターを作った。情報交換を円滑にするため、1本1本日本酒やワインを自ら選んだ座長の心得講習会を事前に行い、名刺交換会を企画した。

学会は所期の目的を達して、概ね好評だった。

学会が正午頃終わったあと、撤収作業をした真昼の駐車場で『あっちいな』と声が出た。しかし、おかしな事に汗があまり出ない。

アスファルトがゆらつとして肌がチリチリする夏を実感したのに・・・

宴会の翌日は水分が足りないの夏を過剰に実感する恐れがあるので気をつけよう。すぐにスタッフと近所のコーヒー店に行ってストックホルムの湖畔を思い出したので無事だった。そういえば会長だけど当日3次会まで完走していた。ボトルの最後の一杯を飲んだのは思い出した。

(病理科医長 寺本 典弘)



自分のポスターも作ったことは秘密だ



今朝、花かつおを食べようと小袋を見たら『11月24日は、いい節の日。和食の日でもあります。』と書かれていました。11月24日(いいにほんしょく)ということで「和食の日」だそうです。

制定したのは一般社団法人和食文化国民会議で『日本の食文化にとって大変重要な時期である秋の日に、毎年、一人ひとりが「和食」文化について認識を深め、和食文化の大切さを再認識するきっかけの日となっていくようお願いをこめて、11月24日を「いい日本食」「和食」の日と制定しました。(一般社団法人和食文化国民会議 HP より一部引用)』とのことでした。

2013年に「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、和食文化は、世界共通の財産となりました。和食の日には、学校での食育授業や和食給食の提供など、全国で和食に親しむ活動を促進し、和食文化の保護・継承を推進しています。

和食に欠かせないのがダシ。料亭のダシは言うまでもなく、日常のお味噌汁の優しい味わいに癒されたことがある方も多いのではないのでしょうか。当院では化学療法や放射線治療で口内炎や炎症が生じている際に痛みにつながる醤油・塩・コショウを使用していない漱石食というお食事があります。この他に酸味・柑橘類・香辛料も控え、使用するのはだし・みりん・味噌・マヨネーズ程度の味付けです。お召し上がりになられた方からは「このダシの味にほっとする。」との言葉を頂戴します。

忙しい毎日だからこそ、ほっと一息つける瞬間を持ちたいものですね。

(栄養管理室長 酒永 智子)

# がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュース（年4回発行）と選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』（隔月誌）へ掲載するほか、当院ホームページ等インターネットやテレビ、ラジオなどの各種媒体にてご紹介させていただきます。



選者：三瀬明子(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)

特選

## ひとこえで元気になれるひまわりよ

(ゆうさん 53歳・女性)

誰かのひとこえで、元気になれる。そんな誰かが周りにいると有難いですね。そしてその人は、まるでひまわりのようだ、という意味なのでしょう。炎天下の中しっかりと立つビタミンカラーのひまわりは、元気の象徴です。

特選

## 明日よりも今日が大切稲の花

(御転婆さん 66歳・男性)

今日を積み重ねたら明日になる。明日よりも今、今日が大切、というメッセージ。「稲の花」の取り合わせも絶妙です。日々の積み重ねで実る米。加えてコメ問題に揺れる昨今、明日よりも今日の米が大事との声も。納得。

## 入選 今ほもうバナバナナと言はぬ人

(照月さん 83歳・女性)

ユニークなフレーズです。この人はどんな人だろうと想像がふくらみます。食の好みが変わったのでしょうか？もう病気ではないよ、という意味表示でしょうか？あるいは、今の人全般の食の傾向をさしている、とも。照月さんに句意を聞いてみたくなりました。

## 入選 三度目も手術成功雲の峰

(てつかわちゃんさん 83歳・女性)

三度目の手術も頑張って乗り越えられ、喜びもひとしお。季語「雲の峰（入道雲のこと）」の取り合わせに実感があります。もりもりと元気が湧いてくるようです。

## 入選 入所すと軒風鈴をはずしくれ

(山花さん 80歳・女性)

(いずれかの施設に)入所するから、自宅の軒につるしてあった風鈴を外してください、という意味ととらえました。主のいなくなる家に必要のない風鈴。切ない一句です。

## 入選 愛犬とまさか与命で競うとは

(中谷和司さん 65歳・男性)

表記は「余命」ではなく「与命」。残された時間、というより、与えられた命、の意図を感じました。愛犬は高齢なのでしょうか。ご自身は(もしくは家族が?)思いがけない宣告があったのでしょうか。深刻なシチュエーションながら、ユーモアのある表現で、心の強さを感じ取れます。

## 入選 しゅじゅつの日みんなが来たよ おうえんたい

(あきとさん 8歳・男子)

手術の成功を祈って、家族をはじめ、友人知人、みんなが大勢で来てくれたのですね。「おうえんたい」がいて、きつと心強かったことでしょう。



## 皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、患者支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	小森(化)
			西久(内)	-	久門(内)	日野(化)	長谷部(内)
	外科	肝・胆・膵	-	-	○日野	-	-
		食道・胃	大鶴	浅木	大野	△大鶴	浅木
呼吸器	内科	肝・胆・膵	-	羽藤	-	柿下	
		食道・胃	東原	高津	-	池谷	-
	外科	肝・胆・膵	-	竹井	-	小島	-
		内科	○加藤(有)	二宮	-	加藤(有)	☆上月
内科新患	○近藤	○加藤(有)	-	○二宮	-	近藤	
	外禁煙外来	山下(素)	上野	土生	重松	重松	
緩和ケア内科		末久	成本	成本	三浦(耕)	三浦(耕)	
泌尿器科		橋根	担当医	橋根	担当医	瀬戸	
		瀨戸	-	辻岡	-	辻岡	
血液腫瘍内科		水野	吉田	水野	吉田	-	
	感染症・腫瘍内科	○濱田	担当医	担当医	○濱田	担当医	
婦人科	竹原/坂井	横山	婦人科医師	竹原	婦人科医師	藤本/菰下	
		日比野	-	藤本	-	坂井	
	青儀	高嶋	高橋(三)	高橋(三)	青儀	高嶋	
		河内	高橋(三)	河内	山下(美)	宇野	
形成外科	△山下(昌)	○山下(昌)	-	-	-	○山下(昌)	
	門田	担当医	門田	担当医	橋本	橋本	
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	橋本/岡	-	橋本	-	-	岡	
	青木	-	青木/岡	-	-	○増井	
骨軟部腫瘍・整形外科	杉原	杉原	杉原	-	-	杉原	
歯科口腔外科	片山	片山	片山	-	-	片山	
	古川	古川	古川	古川	古川	古川	
放射線	診断科	清水	桐山	清水	桐山	細川	
	治療科	濱本	濱本	長崎	神崎	神崎	
予麻酔・疼痛外来	原田	★首藤(総)/☆正岡	-	-	-	武智	
併存疾患センター 【※1は院内紹介のみ】	リンパ浮腫外来	-	○山下(昌)	-	-	○山下(昌)	
	リンパ浮腫ケア外来	-	リンパ浮腫ケア(自費)	-	-	リンパ浮腫ケア(自費)	
	皮膚科	藤山	藤山	垣生	藤山	藤山	
	精神科	-	-	-	福本	-	
	眼科	-	○大橋※1	-	-	○大橋※1	
	循環器内科	○倉田	○倉田/△東※1	○倉田	○倉田	△吉井・船田※1	
	内分泌内科	-	-	松原※1	-	-	
	糖尿病内科	-	○川村/羽立※1	○高門※1	-	○高門/池田※1	
脳神経外科	-	-	-	○國枝・山下・西川※1	-		
予ストーマ外来	橋根	高津	○橋根	○小島	-		
予原発不明がん診療科	-	△青儀	-	-	-		
予セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
予がんゲノム医療外来	担当医	-	担当医	-	-		
予遺伝性がん診療科 【※2はサーベイランス外来】	△山本	○山本※2	○山本	○山本※2	山本		
予病理外来	-	△山本	-	○大住	-		
予がん看護外来	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師		
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井		

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当  
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。



臥龍山荘 (大洲市)  
撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。

当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。



院内にて  
FREE Wi-Fi  
がご利用できます。

四国がんセンター【公式】

Facebook



Instagram



四国がんセンター

〒791-0280

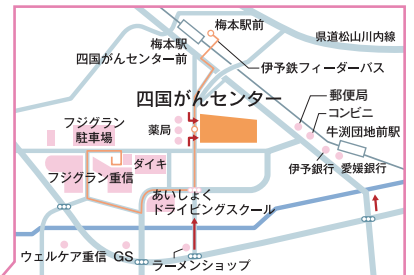
愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL: 089-999-1111

FAX: 089-999-1100

https://shikoku-cc.hosp.go.jp

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分

松山自動車道

- 松山インターから車で 約20分
- 川内インターから車で 約20分
- 東温スマートインターから車で 10分

電車・バスでお越しの場合

